

エアー着ぐるみ 取扱い説明書（汎用）



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故につながる恐れがございます。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にご使用下さい。お読みになった後は、必ずいつでも見られるところに保管して下さい。

※種類によって取扱いは一部異なることがあります。



警告

安全のために

誤った使い方をしたときに生じる感電や障害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守り下さい。



「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

一ヶ月に一度は、電源コードに傷がないか、電源プラグ部とコンセントの間に埃がたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検して下さい。

故障したら使わない

着ぐるみ本体の送風機や充電器、バッテリーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がいたら、直ちに使用を中止し、修理のご連絡をお願いいたします。

万一、異常がおきたら

変な音・においがする
煙が出た
・・・など異常が起きたら



- ① 電源を切る
- ② バッテリーを外す
- ③ 担当部署に連絡する

ご使用前に必ずお読み下さい

○エア－着ぐるみをご使用の際は、必ず、事前にバッテリーの充電を行って下さい。

○エア－着ぐるみを着用する時は、必ず補助の方と一緒に行って下さい。

○エア－着ぐるみをご使用の際は、周りに人がいないか、障害物がないかなど、ご確認下さい。

○エア－着ぐるみを長時間ご使用になる場合は、十分に休憩をとりながらご使用くださいますようお願いいたします。

○エア－着ぐるみをご使用中、気分が悪くなったり体に不調を覚えた場合、速やかに着ぐるみの使用を中断し、着ぐるみの外に出るようにして下さい。
○着ぐるみ本体にセットされている送風機には、お手を触れないようお願いいたします。

○送風機やバッテリー、充電器など、全ての付属品の改造は絶対にお止め下さい。

準備1: 付属品をお確かめ下さい

キャリーケースを開けたら、付属品が全て揃っているか確認して下さい



着ぐるみ本体×1体
(送風機内蔵)



バッテリー×2個



ヒューズボックス×1個



バッテリー用ポーチ×1個



専用充電器×1個



専用キャリーケース

※ポーチやバッテリーの付属品は
必ず緩衝材に包んで下さい



※種類によって一部異なることがあります。

準備2: バッテリーを充電する

エア－着ぐるみをご使用になる前に、必ずバッテリーの充電を行って下さい。



- ① 充電器のクリップをバッテリーの電極にはさむ。

<注意>

※プラス端子(赤)、マイナス端子(黒)を間違えないようにして下さい。

※必ずバッテリーをポーチから出して充電して下さい。

※クリップが外れないように、しっかりと奥まで差し込んで下さい。



- ② ①の確認ができたなら、充電器のスイッチを入れます。

充電にかかる時間
充電開始から約24時間でフル充電の状態になります。

危険

充電は48時間以上行くと過充電となり危険ですのでご注意ください。

バッテリー・充電器 お取り扱い上の注意

- バッテリーの充電は、48時間以上行くと過充電となり、大変危険です。充電を開始したら、必ず時間を計って、適正な充電をして下さい。
- タコ足配線はお止め下さい。
- 水にぬれる場所での充電はお止め下さい。
- 直射日光、高温多湿での充電はお止め下さい。
- 配線を、切ったり加工するなどの改造行為は絶対にお止め下さい。
- バッテリーは、新品の状態、1回の充電で約3時間ご使用できます。
- バッテリーのサイクル寿命は充電回数約200回です。バッテリーが弱ってきたら新しいものと交換して下さい。
- バッテリーは、放置しておくとも自動放電してしまい、使えなくなってしまいます。着ぐるみをご使用にならなくても、月に1度は充電を行うようにして下さい。

準備3: バッテリーをセットする

充電が完了したら、バッテリーとヒューズボックスをウエストポーチにセットします。



- ① ポーチにバッテリーを、ポーチのポケット部分にヒューズボックスを入れます。

※この時、バッテリーの端子は向かって右側、ヒューズボックスのコードは向かって左側に出るようにセットして下さい。



- ② ヒューズボックスから出ているコードをバッテリー

の電極に差し込む。

<注意>

※プラス端子(赤)、マイナス端子(黒)を間違えないようにして下さい。

※コードが外れないように、しっかりと奥まで差し込んで下さい。



- ③ セット完了です。

準備4: 送風機とバッテリーをつなぐ

着ぐるみ本体に内蔵されている送風機をヒューズボックスに接続します。



- ① 着ぐるみ本体の送風機から出ているソケットをヒューズボックスに差し込み、ロックねじをしっかりと回して固定する。

※ソケットには差し込み方向があります。
必ず位置を確認して差し込んでください。



- ② 接続完了です。

着ぐるみを着る： ポーチの装着

準備1～4を行ったら、実際に着ぐるみを着てみます。まず初めにポーチを装着します。



- ① ポーチのショルダーベルトをそれぞれ1本ずつ両肩にかけます。

※ポーチが腰の位置にくるように、ベルトの長さを調節して下さい。



- ② ウエスト部分のベルトのバックルを留める。

※ベルトは、ポーチのベルトと調整ベルトの2本がありますので、もう1本も同じようにバックルを留めて下さい。



- ③ 体型に合わせてベルトの長さを調節して、しっかりと体に固定して下さい。

※きつく締めすぎないように気をつけて下さい。



着ぐるみを着る： 着ぐるみの中に入る

ポーチを装着したら、実際に着ぐるみの中に入ります。必ず補助の方と一緒に行って下さい



- ① 送風機から出ている電源スイッチを片手に持ちコードを踏まないように注意して下さい。

- ② 着ぐるみの足の部分に装着されているスリッパに片足を入れ、マジックテープで固定します。



- ③ 同様に、もう片方の足もスリッパに固定して下さい。

※少し動いて緩みを確認して、マジックテープでサイズを調節して下さい。



- ④ ポーチ・スリッパがしっかりと固定されているのを確認したら、着ぐるみをかぶって中に入ります。

※必ず補助の方がついて介錯しながら行って下さい。

⑤ 着ぐるみの中の調整ベルトをかけます。

※着ぐるみの中に2本の調整ベルトがありますので、それを1本ずつ両肩にかけます。



この工程は着ぐるみ内部で行なうものです。
着ぐるみの中に入って、ある程度膨らんでから行なうようにして下さい。

※たすき掛けになるようにして下さい。



<正面から見た図>



<後ろから見た図>



⑥ 補助の人にファスナーを閉めてもらい、送風機のスイッチを入れます。





⑦ エアー着ぐるみの完成です。

※約3分程度で完全に着ぐるみが立ち上がります。

立ち上がった後、手足や体を動かして、ポーチやスリッパなどに違和感がないかを確認して下さい。緩みや違和感を感じたら、再度やり直して下さい。



<注意>

※エア漏れを防ぐため、ファスナーが完全に閉まっているかをご確認下さい。

※着ぐるみを膨らませている間、送風機の吸引口をふさいでしまうと、中に空気が送られなくなりますので、吸引口をふさがないように注意して下さい。

着ぐるみを脱ぐ

着ぐるみを脱ぐときも、必ず補助の方と一緒に行って下さい。



送風機のスイッチを切ったら、補助の人にファスナーをあけてもらいます。スイッチを補助の人に持ってもらい、着ぐるみを着た時と逆の手順でスリッパ、ポーチを取り外します。

<注意>

※コードを踏まないように注意して下さい。

着ぐるみのご使用を終えたら

- 送風機とヒューズボックス、バッテリーとヒューズボックスの接続を、必ず取り外して保管して下さい。
- 全ての付属品に破損等の異変がないか確認して下さい。
- 着ぐるみ本体は、ご使用後風通しの良いところで干してから、キャリーケースに収納されることをお勧めいたします。
- 着ぐるみを保管する際は、直射日光や高温多湿な場所は避けて下さい。
- 運搬の最中に備品が破損しないように、キャリーケースの中の備品は必ず緩衝材に包んで収納して下さい。

定期点検チェックリスト

着ぐるみを長く安全にお使いいただくために、定期的な点検をお勧めいたします。

- 電源コードに傷はありませんか？
- 電源コードが不自然に絡まっていませんか？
- 電源プラグにほこりやごみはたまっていますか？
- スイッチは破損していませんか？
- バッテリーに液漏れはありませんか？
- 煙が出たり変な音はしませんか？
- 充電器のクリップは壊れていませんか？
- ヒューズボックスは破損していませんか？
- ヒューズボックスのヒューズは切れていませんか？
- 本体の生地に傷や切れ目はありませんか？
- 本体の縫い目に糸のほつれなどはありませんか？
- ストラップのバックルは破損していませんか？
- 本体に異物などは入っていませんか？
- 本体に水滴などが付着していませんか？

ひとつでも該当するものがあれば、**直ちに使用を中止し**、担当部署にご連絡の上
修理されることをお勧めいたします。

※この用紙はコピーをしてご使用下さい。